

平成28年6月9日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

池本, 板倉, 大木, 黒田, 佐藤, 菅, 高橋, 田中, 長澤, 中島, 名和, 平勢, 梶屋,
松田, 真鍋, 安富の各教授

青山, 李, 池亀, 小寺, 鍾, 塚本, 古井, 森本の各准教授

海外渡航者

馬場, シルツの各准教授

議事

5月19日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について、資料P7のとおり1件。

報告事項

2. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 評価委員会 (5月24日)

資料P8～14に基づき、研究業績説明書及び自己点検・自己評価について報告があった。

2) 科所長会議 (5月24日)

①学内諸情勢

資料P16に基づき、大学改革の動向について報告があった。

②産学協創案件の審議手順

産学協創案件の審議手順について、審議了承された旨の報告があった。人文系の教員も未来社会についてのビジョンがあり、そのビジョンを実現する技術開発をしてくれる学内の研究者や民間企業を探したい場合などは、産学協創推進本部へ相談できる旨説明があった。

③総合図書館改修計画

資料P17～25に基づき、総合図書館改修計画について説明があった。

3) 予算委員会 (5月24日)

資料P26に基づき、委員会での議事概要について報告があった。

このことに関連し、研究所関連の予算案については所長選挙の時期も考慮し、1次及び2次配分は財務委員会において、共通政策課題分はセンターにおいて10月までを目途に、3次配分(新規要求分)については図書館に関するWGの担当教員で9月までを目途に、原案を作成して準備を進めていただきたいとの提

案があった。

- 4) 総長室総括委員会（6月7日）
報告事項なし
- 5) 評価委員会（6月7日）
資料P 27に基づき、委員会での議事概要について報告があった。
- 6) 科所長会議（6月7日）
 - ①資料P 29～53に基づき、東京大学ビジョン2020の具体的取組及び取組みにかかる工程について、特に当研究所に関わりが強い部分について説明があった。併せて、今回説明を省いたページについても、目を通していただきたいとの要請があった。
 - ②資料P 54～55に基づき、10月15日（土）に開催される第15回ホームカミングデイの概要および企画案の提出期限について、説明があった。
- 7) 名誉教授選考委員会（6月7日）
同委員会での議事概要について報告があった。
- 8) 第74回国立大学附置研究所・センター長会議総会（5月26日～27日）
資料56～57に基づき、共同利用・共同研究体制の強化・充実について、附属東洋学研究情報センターは共同利用・共同研究拠点に認定されなかったが、概算要求が通り共通政策課題分としてセンターに予算が配分されたことの趣旨について説明があった。
- 9) 部局長パトロール報告
資料58～59に基づき、6月6日（月）に実施した部局長パトロール及び産業医巡視について、当日、産業医の要請により全室の点検を行ったこと、災害時の避難経路確保の観点による指摘が複数あったこと、該当する研究室の教員には追って個別に連絡すること等説明があった。
- 10) 全学自由研究ゼミナールについて
資料P 60に基づき、全学自由研究ゼミナールの担当教員について確認があった。
- 11) 教員の海外渡航について（報告）
総務委員会にて資料P 61～62のとおり8件を承認した旨報告があった。
- 12) 委員等の応嘱について
資料P 63のとおり1件を承認した旨報告があった。
- 14) その他
 - ・休日にかかる出張について
所長より、出張等が土日祝日にかかっている場合、各研究者自身の研究のための勤務の振替や休日出勤手当支給の手続きについて今後は不要し、入試等で大学や研究所から業務を休日に行うことを明確に命じられた日は、従前通り勤務の振替や休日出勤手当支給の手続きを要するので、事務手続きにご協力いただきたいとの説明があり、併せて本部や他部局が事務局となる業務などは当研究所の事務で事前に把握ができない場合もあるので、事務へ確認をしていただ

きたいとの要請があった。

・第2次避難場所である懐徳園の鍵について

当研究所の第2次避難場所として懐徳園が指定されているが、本所では鍵を持っておらず、鍵を持つ本部職員の到着を待つことになっていること。避難場所として実効性を持たせるために研究所の教職員が開錠できるよう、研究所で合鍵を借り受けたいと本部に交渉しているが、認められていないこと。引き続き、交渉を続けていくことについて、説明があった。

・著名外国人教授について

7月1日付で採用予定であった包茂紅教授が、所属大学の事情により来日の日程が変更になり、滞在期間が短縮されたことについて報告があった。

また、今後、招へいしたい方がいれば、紹介・推薦していただきたいとの依頼があった。

・JICAの人件費補てんについて

当研究所の教員がJICAから海外に派遣された際、研究所に対し人件費の補てんがされるケースがあることを受け、補てん金の取り扱いについて申し合わせを設けることを検討していること、概要は、補てん金は所長裁量経費として受け入れ、派遣された教員自身から希望があれば、補てん金の一部を研究費として配分できることにすることを考えている旨、説明があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

休会のため特になし。

2) インフラ委員会

休会のため特になし。

3) 情報・広報委員会

池本委員長から、

- ① 夏の公開講座 2016 について資料P64に基づき説明があり、定員60名で募集をしているところ、すでに40名の申込みが来ている旨、報告があった。
- ② 「Windows10」への無償アップグレードを希望しない教員への注意喚起として、アップグレードした後に元に戻すことは可能なので、アップグレード処理が進み始めた場合は、途中で余計な操作をしないでいただきたいこと。不都合があれば、藤岡委員へ相談するよう要請があった。

4) 研究企画委員会

佐藤委員長から、

- ① 資料65～66に基づき、定例研究会等の発表者について説明があった。
- ③ 資料67～68に基づき、平成29年度以降の刊行予定者及びこれまでの「東洋文化」編集責任者及び特集題名一覧について説明があり、編集責任者を請け負っていただける方は立候補いただきたい旨、要請があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

平勢副委員長より、

- ① 先月の教授会でセンターの研究室をASNET教員が使用することが承認されたことを受けて部屋を整理したこと、部屋に残っていた書籍類の取扱いを検討していることについて報告があった。
- ② センター叢刊をweb公開する際の基本方針について報告があった。一般的に販売数が見込めず出版に馴染まないものをセンター叢刊という形で刊行しており、それらをweb公開するとした経緯があるが、その後、出版事業に馴染むものもセンター叢刊として刊行しているものがあることが判明した。また、中にはweb公開できない情報を含んでいるケースも考えられることもあり、一律にweb公開できることにはならないため、編者の意向に添ってweb公開する方針で進めているが、このことについて全体で議論すべきという意見があれば、提案事項とするので議論願いたい旨の説明があり、異議なく了承された。

6) 研究倫理研修について

高見澤所長より、9月15日(木)の離任研究会の後、研究倫理の研修会を行うこと、この研修会は本やインターネットで受講する一般論的な研修ではなく、フィールド調査を行うにあたっての研究倫理など、具体的なテーマで開催するものであること、社会科学研究所、史料編纂所の文系3研究所で相互に受講が可能なものとして開講したいと考えている旨、報告があった。

7) 評価委員会

菅委員より、教員評価に関しては、新たな評価資料を作成いただく代わりに昨年夏に提出いただいた研究業績説明書を使用することを考えていたが、昨年夏以降に業績があった場合等により内容を変更したい人もいるであろうことを考慮し、8月末を提出期限として再作成依頼を行いたい旨、説明があった。

引き続き、中島委員より、教員評価については10月頃に評価をまとめることを考えていること。それを踏まえて、来年1月頃に外部評価委員会の開催を検討しており、現在、委員長等の人選を進めている旨の補足説明があった。

また、菅委員より、3月に各自の業績データベースを更新しないようお願いしていたが、今後は積極的に更新していただきたい旨の依頼があった。

これを受け、高見澤所長より、教員評価および外部評価にかかるスケジュールや外部評価委員の候補等が具体的に決まったら教授会で報告願いたいとの要請があった。

5. その他

1) 障害者差別解消法関連について

高見澤所長から資料P69に基づき、本年4月1日の障害者差別解消法の施行を踏まえた本部からの要請により、①部局における障害者差別事案解決相談員として本研究所からは土田事務長を選出した旨、②本部バリアフリー支援室主導に

よる障害者差別解消法に関連した部局研修会を、平成28年7月7日(木)10:00~10:30に3階大会議室で、常勤教職員、短時間勤務職員(総務・図書チームのみ)を対象に行うこととする旨、報告があった。

さらに、講演会等のイベントを実施する際は、資料P72~73のバリアフリー支援室長からの依頼通知「障害のある参加者への講演会等実施に際しての配慮について」を確認の上、必要な配慮を行ってもらうよう要請があった。

審議事項

6. 平成29年度概算要求(共通政策課題:全国共同利用・共同実施分)

高見澤所長から、資料74~80に基づき、説明があった。本部から6月7日に依頼があり、6月15日が提出期限となっていることから総務委員会、センター教員、事務で急遽、原案を作成したものであり、今後、細かい修正等が出て来ることとも考えられるが大筋で本提案を認めていただきたい旨の発言があり、承認された。

7. 教員の海外渡航について

該当教員から説明があり、資料P81~82のとおり3件を承認した。

8. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から(羽田教授分は高見澤所長から)説明があり、資料P83~85のとおり6件を承認した。

9. 特任研究員の採用について

雇用責任者の教授から、別添資料に基づき、採用予定者について説明があり、承認された。

10. 所内委員会について

高見澤所長から、資料P86に基づき説明があった。

11. 研究協力者の申請について

該当教員から、別添資料に基づき説明があり、承認された。

12. 平成27年度決算について

松田財務委員長から、資料P87~93に基づき、前回教授会より修正等がない旨説明があり、承認された。

13. 平成28年度予算配分案について

松田財務委員長から、資料P94~96に基づき、前回教授会より予算額・配分案に影響のない軽微な修正を1か所行った旨説明があり、承認された。

14. その他

特になし

以上